

授業科目	基礎看護方法1	1 学年・前期・2 単位 (60 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	中村円 (保健医療学研究棟 E312 号) e-mail : m-nakamura@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	堀口雅美、宇野智子、飯澤良祐、(佐藤美智子)他		
概要	看護は看護技術を媒介として行われる実践活動である。このような看護の実践は、看護の目的に基づいて対象者の個別的な状況に即した具体的な看護技術を適用していく営みである。本科目では看護技術の導入科目として看護技術の概念を理解するとともに、あらゆる看護実践に共通する要素について学習する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護技術の概念を説明できる。 2. 看護実践における安全・安楽・自立・自律の概念を説明できる。 3. 基本的な感染予防の原理原則を説明できる。 4. 姿勢と体位にかかわるボディメカニクスの原理原則を説明できる。 5. 看護における環境調整の意義および生活環境を調整する方法を説明できる。 6. 看護におけるコミュニケーションの意義および効果的なコミュニケーションを行うための方法を説明できる。 7. 人間にとっての酸素化の意義および酸素化の機能を整えるための看護方法を説明できる。 8. 看護における健康教育の対象とその場および健康教育の概要を説明できる。 9. 感染予防、ボディメカニクス、生活環境の調整に関する基本的な看護技術を実施できる。 		
関連科目	基礎看護方法2~4、看護学概論、ヘルスアセスメント1、解剖学、生理学、基礎看護実習1		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	提出物	20%	提出物(20%)、筆記試験(60%)、実技試験(20%)の3項目より評価し、すべての合格により単位を認定する。 ・提出物は、提出状況、及び内容の目標到達状況により6割以上を合格とする。 ・筆記試験は、定期試験の解答状況により6割以上を合格とする。 ・実技試験は、実技試験採点表に基づき6割以上を合格とする。
	筆記試験	60%	
	実技試験	20%	
教科書	①深井喜代子編 [2021年・3,520円] 「新体系看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ」 メヂカルフレンド社 ②深井喜代子編 [2021年・3,520円] 「新体系看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ」 メヂカルフレンド社 ③菱沼典子著 [2017年・3,410円] 「看護 形態機能学 第4版 生活行動からみるからだ」 日本看護協会出版会 ④稲葉佳江他編 [2011年・3,850円] 「看護ヘルスアセスメント」 メヂカルフレンド社		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	授業日程および演習要項を別途配付する。学習要項・演習要項を良く確認し、不備のないように注意すること。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	本科目の概要・目標、学習内容、学習方法 看護技術とはどのようなものか	事後：学習課題	講義	宇野
2	看護における安全・安楽・自立・自律の概念	事後：学習課題	〃	〃
3	感染予防の基礎Ⅰ①：感染の基本概念(感染とはなにか、感染の種類、感染の連鎖、感染成立の要素)	事前：教科書①該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	中村
4	感染予防の基礎Ⅰ②：感染予防の原則、手指衛生の種類	事前：教科書①該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃
5	感染予防の基礎Ⅰ③(技術演習)：基本的な手洗い〔衛生的手洗いの実施〕	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	演習	宇野・中村・飯澤・(佐藤)他

6	ボディメカニクス①：ボディメカニクスの概念、ボディメカニクス活用の効果	事前：教科書①・②該当箇所を読む 事後：学習課題	講義	中村
7	ボディメカニクス②：体位変換・移動の援助に活用される基礎理論	事前：教科書①・②該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃
8	ボディメカニクス③(技術演習)：ボディメカニクスの実際〔姿勢と動作の基本要素、ボディメカニクス活用の実際〕	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	演習	宇野・中村・飯澤
9	ボディメカニクス④(技術演習)：安楽な体位〔臥床患者の安楽な体位の調整〕	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
10	ボディメカニクス⑤(技術演習)：体位変換と移動〔臥床患者の体位変換、移乗、移送〕	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	宇野・中村・飯澤・(佐藤)他
11	ボディメカニクス⑥(技術演習)：体位変換と移動〔臥床患者の体位変換、移乗、移送〕	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
12	ボディメカニクス⑦(技術演習)：体圧測定〔褥瘡好発部位の体圧測定と褥瘡予防方法の検討〕	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	宇野・中村・飯澤
13	生活環境の調整①：生活環境の概念、生活環境の構成要素	事前：教科書②該当箇所を読む 事後：学習課題	講義	飯澤
14	生活環境の調整②：物理的環境要因、プライバシーとテリトリー	事前：教科書②該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃
15	生活環境の調整③(技術演習)：ベッドメイキング〔基本的なベッドメイキング〕	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	演習	宇野・中村・飯澤・(佐藤)他
16	生活環境の調整④(技術演習)：ガウンチェンジ〔臥床患者の寝衣交換〕	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
17	生活環境の調整⑤(技術演習)：リネンチェンジ〔対象者が臥床中のベッドリネンの交換〕	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
18	生活環境の調整⑥(技術演習)：リネンチェンジ〔対象者が臥床中のベッドリネンの交換〕	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
19	生活環境の調整⑦(技術演習)：物理的環境の調整〔物理的環境測定と環境調整方法の検討〕	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	宇野・中村・飯澤
20	看護における健康教育①：健康教育の定義、健康教育の対象と場	事前：学習課題 事後：学習課題	講義	堀口
21	看護における健康教育②：保健行動の定義とその分類	事前：学習課題 事後：学習課題	〃	〃
22	看護における健康教育③：健康教育の方法と教育的役割	事前：学習課題 事後：学習課題	〃	〃
23	看護におけるコミュニケーション①：コミュニケーションの意義	事前：教科書①該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃
24	看護におけるコミュニケーション②：コミュニケーション理論と実践	事前：教科書①該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃
25	看護におけるコミュニケーション③：コミュニケーション理論と実践	事前：教科書①該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃
26	酸素化に関する看護Ⅰ①：人間にとっての酸素化の意義、酸素化に影響する因子、酸素化の阻害因子	事前：教科書②該当箇所を読む 事後：学習課題	講義	中村
27	酸素化に関する看護Ⅰ②：酸素化に関するアセスメント、酸素化に関する看護援助	事前：教科書②該当箇所を読む 事後：学習課題	〃	〃

28	自己課題学習(技術演習)	学習課題	演習	宇野・中村・飯澤
29	実技試験：演習項目より試験内容を決定(別途要項を配付する)	—	実技試験	宇野・中村・飯澤・(佐藤)他
30	実技試験：演習項目より試験内容を決定(別途要項を配付する)	—	〃	〃